

令和元年度 第2回 社会教育委員会議 議事録

開催日時	令和元年11月15日(金)13時30分から16時40分
開催場所	高千帆公民館
出席者	山陽小野田市社会教育委員11名 吉本 光良委員、 半矢 幸子委員、 矢野 憲文委員、 能勢 俊勝委員、 平中 政明委員、 富永恵美子委員、 高橋 茂委員、 香川 真澄委員、 江中 幸夫委員、 榎崎八由美委員 篠原 裕尚委員 事務局 5名 尾山教育部長、河上社会教育課長、日浦主査、安藤係長 若山歴史民俗資料館長 山陽小野田語り部の会 梅津さん
欠席者	城戸 邦之委員、大本 章男委員、野村 誠委員
<p><オリエンテーション></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育部長あいさつ ・委員長あいさつ ・本日の流れの説明を事務局が行った後、文化財視察のため移動 	
<p><文化財視察></p>	
課員	<p><視察後の会議> 高千帆公民館にて</p> <p>お疲れ様でした。ここで施設見学の振り返りをさせていただきます。それでは、吉本委員長、ここからの司会をお願いします。</p>
委員長	<p>それでは、本日の文化財視察で、お気づきの点がありましたら、一言ずつお話いただけたらと思います。どの文化財でも結構です。ではこちらからどうぞ。</p>
委員	<p>勘場屋敷ですが、五挺唐樋と非常に関連がありますが、これからどのようにされていくのでしょうか。</p>
委員長	<p>今後は中に入れなくなるようです。観光協会が出した「まち再発見」があります。勘場とは本来藩政時代の代官所のことを言い、元は高泊開作造成時に船木代官楊井三之允が起居した役宅であったといわれています。今は誰か管理されているのですか。</p>
課長	<p>昨年3月に文化財審議会に史跡としての指定について諮問をしております。今年の3月に答申がありました。史跡として指定するのは好ましくないとの答申でした。理由は建物としての価値も十分あります。地元の方々への周知、勘場屋敷への愛着心等が不足しているという中で、地域に勘場屋敷への愛着心を深めていただく姿勢が必要なのではないかとの回答でした。そのうえで将来的に考えていこうとなり、市としては庭の草刈りについては地元の浜の自治会に受けていただき、その中で地域の方々に愛着心を深めていただきたいと思います。</p>
委員長	<p>市の財産になっているのですか。</p>
課長	<p>文化財としての財産ではありませんが、市の財産です。</p>
委員長	<p>あとは市の文化財審議会が決めることでしょうか。</p>
委員	<p>山陽小野田市にこのような文化財があるということを改めて知ることができました。学校で、社会見学等どのぐらいのペースで行かれているのか気になります。文化財を大切にしていくのは子供たちだと思いますので、周知をどのようにされているのでしょうか。</p>
課長	<p>回数などは各学校で運営されているので、こちらでお願いや指示等は行っておりません。ふ</p>

	<p>るさとの宝ということで、「ふるさと文化遺産」ファイルを各学校に配布して、これらを活用して郷土史の周知、郷土愛の醸成を図っていただきたいと、今年度お願いをさせていただきました。今年度始まっておりまして、年度の初めには学校ではスケジュールを決めておられ、すぐさまの活用は難しいですが、今後このファイルを活用して、文化財の周知、郷土愛の醸成を図っていただくようお願いをしております。</p>
委員	<p>一覧表で指定文化財はたくさんありますが、これらをどのように活用していくか、役立てていくのか、保護していくのか、それらの大きな方向性がどうなっているのかが一番大切だと思います。五挺唐樋や徳利窯は自由に見ていただけるので、他県からも来ていただいて観光面的な要素も踏まえて活用していくことも可能なのですが、小野田セメント山手倶楽部は外から眺めるだけで、普段は入ることが出来ないということで、どのように活用していくのか。そのあたりがよく分からない。全体的に文化財をどうしていくのかは審議会が決めることかもしれませんが、ハマセンダンですが、大きいというだけで文化財になっているようですが、木に興味がないものはこれだけかと。同じ文化財として何か訴えるものがほしいと思います。看板にしてもこういうことで有名だという文章が必要なのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>受け継いで芽生えるのは、子供たちの郷土学習です。五挺唐樋は山陽小野田市が出来た発端ですので、その歴史を子供たちにもっと受け継いでいったらいいです。徳利窯は屋外で風雨にさらされているので、建物を作って末代まで存続できるように世界遺産になるようにやっていったらいいと思います。今は太平洋セメントが守っていらっしゃいます。企業と市が一体となって守っていけば財産となり受け継いでいける。山手倶楽部も市の宝であるならば、市と会社と地域住民が一緒になってやっていい。大阪の迎賓館は結婚式場で使っており、開放してお金をとってやっている。観光課と社会教育課と一緒にグループになって考えていかないといけない。ハマセンダンは通路が階段だし行きにくいです。趣味のある人しか行きません。何らかの形で宣伝して、川棚の大クスのようになっていったらいいですね。</p>
委員	<p>子供たちにこういうものがあるということを知ってもらうのが、市の財産になります。埴生小学校でも地域のことを知らないということで、ボランティアの方が青木周三や寝太郎の紙芝居を作ったりしています。子供たちも知らないことがたくさんあります。子供たちにも何かの形で見せてあげたら良いと思います。</p>
委員	<p>社会教育委員の一人として何ができると考えた時に、厚狭公民館にいますので、学校との関わりもありますし、学校運営協議会の委員もさせてもらっていますので、各学校に「配布されたファイルを使ってください」と宣伝して自分自身が働きかけをしていきたい。各校区にせっかく良い文化財がありますので、改めて公民館がどう見直していくか、学校とタイアップしてどういうふうに学校に働きかけていくか、せっかくある財産を知ってもらうということも公民館としてできるのではないかと思います。急な取組は無理かもしれませんが、まずは出来ることから始めていけたらと思います。</p>
委員	<p>地元の人たちが郷土の文化遺産を知ることから始めた方が良いでしょう。以前いた他市の観光協会での事例が役に立つかなと思いながら見ていました。地元の人達が年を取るたびに知らなくなるし近くにあるものが分からなくなる。1年間連続講義でその時代に詳しい人たち、歴史研究家の人たちが学校に行ったり、公民館を使って地元の人たちや子供を対象にした歴史や文化を分かりやすく講義しようということになりました。自分のまちの歴史が直結して関連していると、</p>

	<p>それぞれの人たちのポテンシャルも高くなり、ソフトではイベントの形で、ハードではなくしていくものを立て直すというように、年間をとおして楽しみながら学んでいき、裾野を広げていくということをしていました。</p>
委員長	<p>小学校の3、4年生用の教科書ですが、小学校では歴史を教えられない。中学校版があればよいのですが。郷土愛といっても歴史はつながらない。中学・高校でも山陽小野田市に関する事をやってもらいたい。倉敷市では小学生がボランティアで案内をしていました。そのぐらい知っていればよいのですが。</p>
委員	<p>「はっけん山陽小野田」は小学3年生が中心に学習しています。1年生は学校の周りを探検、2年生では幅を広げて探検、3年生は資料を使って昔の人の苦勞などを学習しています。徳利窯は市内の小学校は行っていると思います。市内の学習もできるのではないのでしょうか。</p> <p>例えば須恵小学校は、5月の終わりにある住吉まつりで子供たちも地域貢献を含めて参加をしながら、笠井順八の歴史を学んでいます。各校区から小学校の子供たちが勉強できるように各小学校長会でも紹介をしていければと思います。</p>
委員	<p>4つ見学した中で、知らない場所もありました。社会教育委員として知識をもっておかないと、皆さんにもお伝えできないと思いますので、初歩的なところから山陽小野田市を愛するためにどのようなことが出来るのかを考えていきたいと思います。</p>
委員	<p>歴史については、高齢者がかなり興味をもっていらっしゃる方が増えている。各公民館でも歴史講座の参加者が増えています。その場所に行かれる方もいるし、その周りの地域の方の意識も変わってきます。大人の方が歴史講座に参加したり、そこに行かれるような手立てを考える必要があるのではないのでしょうか。高齢化に伴って健康志向が高まっています。簡単なのはウォーキングです。単に4～5キロ歩くのは面白くなく、テーマを決めて歩くと良いです。地図があってコースがいくつか書いてあれば、その中からその人にあったコースが選べるようなウォーキングマップが各校区にあると良い。観光課とタイアップしてもらって、ウォーキングにしか興味がない方でもその場に行けば関心が出てくるかもしれないです。</p>
委員長	<p>旧山陽道で「絵地図を持って歩こう」をどこがやっていたのでしょうか。</p>
課員	<p>「古地図を片手にまちを歩こう」を山口県観光連盟が主体で県下一斉に実施しており、請け負ってやっていたのは山陽小野田観光協会です。</p>
委員長	<p>公民館でも歴史講座はありますか。</p>
委員	<p>公民館でも実施しています。ウォーキングマップを統一して見やすいものを作ってもらえると良いと思います。</p>
委員長	<p>熱心な御協議ありがとうございました。本日のお気づきにつきましては、今後の文化財の保存や活用等についての参考にされるようなので、用紙に記入して社会教育課まで送ってください。用紙は封筒の中に、用紙と返信用封筒が入っているそうです。</p> <p>では、事務局にお返しします。</p>
<p>・第3回社会教育委員会議：2月14日（金）10時～ 会議案内は後日</p> <p>・本日の視察の気づき等は11月29日までに社会教育課へ返送する。（第3回会議の資料）</p> <p>社会教育課 課長挨拶</p>	